

チャドクガ (Tea tussock moth)

Euproctis pseudoconspersa



集団で食害する若齢幼虫
(体長約15mm)



葉を食い尽くす老齢幼虫
(体長約30mm)

特徴

化学農薬の散布を行っていない茶園で発生することが多い害虫です。幼虫は春と秋に発生します。

人が卵、幼虫及び成虫の毒刺毛に触れると、かぶれ症状を引き起こします。ふ化済みの卵塊や脱皮殻にも毒刺毛はあるので要注意です。

被害と対策

幼虫は最初、集団で葉を食害しますが、徐々に分散し、最後は単独で食害します。

幼虫が集合している時期に、長袖、手袋などの毒毛対策装備を行ったうえで、枝ごと切除します。刺されたら流水で毒刺毛を洗い流して病院へ。決して患部をこすらないこと。